

# 経済財政モデルの概要等について

内閣府

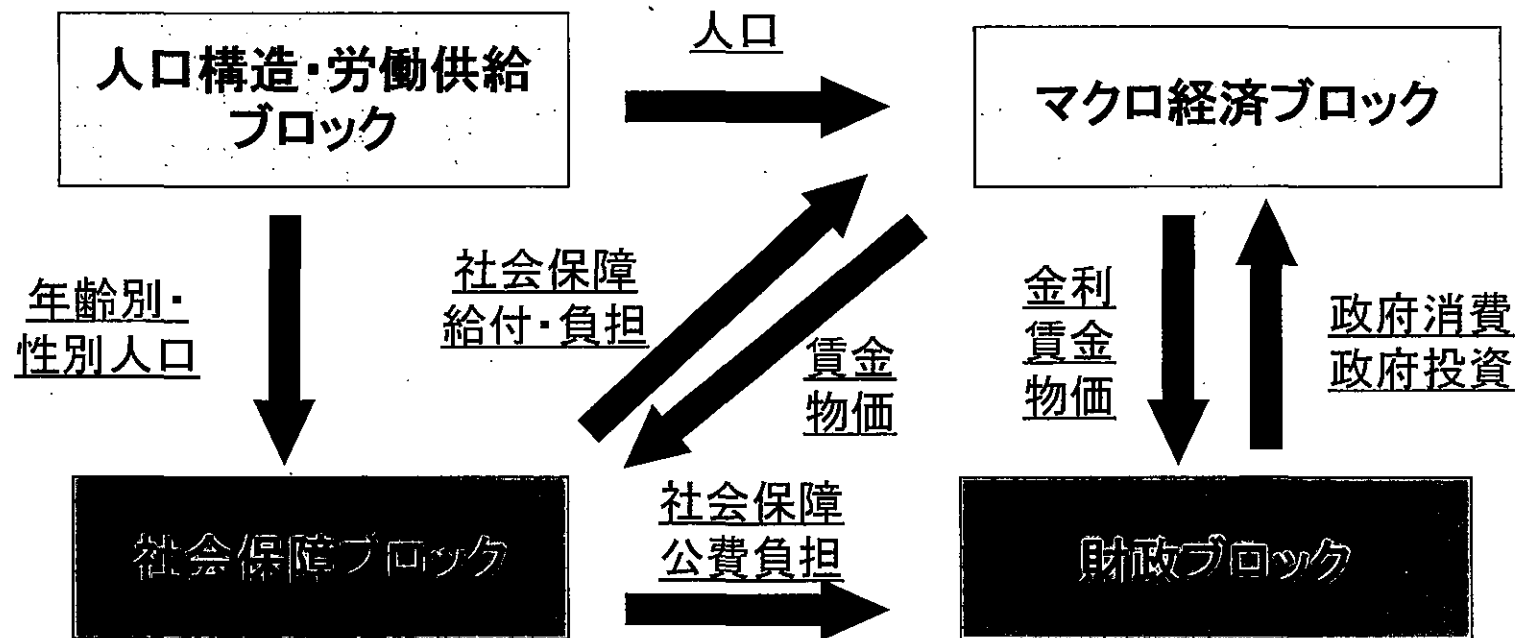
平成24年3月30日



## 経済財政モデルの概要

- 
- 「経済財政モデル」は、マクロ経済だけでなく、国・地方の財政、社会保障を一体かつ統合的に分析を行うためのツールとして開発。
  - 人口減少下での財政や社会保障の持続可能性の検証が重要な課題となる中で、政策審議・検討に寄与することを目的とした5～10年程度の中長期分析用の計量モデル。(年次データ)
  - 技術進歩（外生）、労働（外生）、資本（内生）からなる供給面と需要面との乖離（GDPギャップ）が、物価や金利等の調整メカニズムによって徐々に縮小していく構造を有する。

# 経済財政モデルの概要



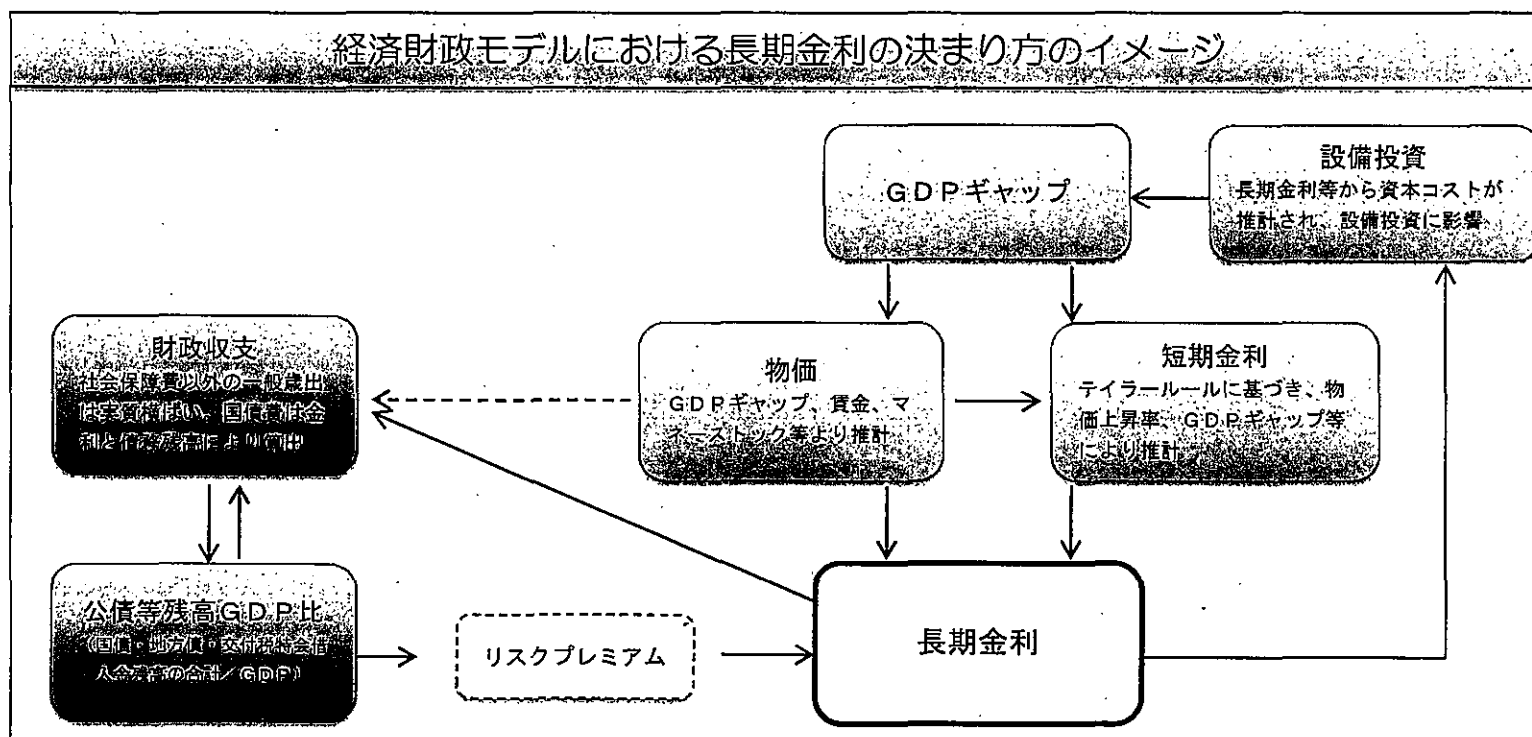
(注) 矢印は主要な波及経路を例示したもの

# 「経済財政の中長期試算」における長期金利と賃金上昇率について

## ○長期金利

短期的にはインフレ率の変動にも反応しつつ、短期金利に一定のリスクプレミアムを上乗せした水準に向かうよう定式化。

- ・短期金利はインフレ率やGDPギャップによって調節されるテイラールール型を想定。
- ・リスクプレミアムは公債等残高 GDP 比によって決定。



## ○賃金上昇率

国民所得と労働分配率から賃金・俸給総額が決定。

賃金・俸給を雇用者数で除して一人当たり賃金を算出。

